

平成 26 年度 事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

① 幼児等を対象とする森林体験活動に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月

(概 要) 幼稚園児や保育園児等を対象とする森林内における体験活動について資料収集、調査、検討等を行い、幼児等に相応しい森林体験活動アクティビティについて、その活動の場所・季節・進め方・安全対策を簡便に取りまとめ、これらの多様な活動内容を広く紹介し普及するためのアクティビティ集を作成。

② 学校教育のための森林・林業等学習プログラム・教材に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

(概 要) 学校教育の場を活用して森林環境教育等の推進を図るため、森林・林業等に関する学習プログラム・教材について調査、検討等を実施。

(2) 参考図書の発行・普及

新しく「『森のようちえん』アクティビティ集」を刊行するとともに、既刊の「みちかな里山のアクティビティ集—体験活動マニュアル—」、「なつかしの野外活動アクティビティ集—森あそび・野あそび—」、「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.323(2014年4月)～No.334(2015年3月)、各号810～870部）。

また、森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集、会員等への配布を行うとともに、協会関連ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

（機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ）

- ① 森林レクリエーション活動に関する情報
 - カムチャッカの自然（Ⅰ、Ⅱ）（No. 327、328）
 - わが社：自然の厳しさと優しさを肌で感じられる場所、八甲田
(八甲田ロープウエー(株) (No. 327)
 - わが社：「飲み(よろこ)び広(ひろ)げる」をモットーに
(株)りんゆう観光) (No. 330)
 - マウンテンバイクと森林利用—進化するむかし道・群馬県東吾妻町のMTBフィールド— (No. 331)
 - 滝ガールが見つけた滝の魅力（その1、その2）（No. 333、334）
- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
 - 森林インストラクターの活動（12、13、14、15）
(No. 323、326、333、334)
 - 第26回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の活動
(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ) ((No. 328、329、330、331)
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - ローカルデザインと地域振興（その3）（No. 323）
 - わがまち：森づくり税事業を活用した公益的機能の保全
(秋田県東成瀬村) (No. 324)
 - わがまち：豊かな森林を活用した町づくり（北海道標津町）（No. 329）
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
 - 森林・山村多面的機能発揮対策について（その1、その2）

(No. 324、325)

- 外国資本による森林買収に関する調査の結果について (No. 326)
- 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部改正 (No. 326)
- 平成 25 年度森林・林業白書の公表 (No. 326)
- 平成 26 年版観光白書の公表 (No. 327)
- 山村の活性化—地域の林業・木材産業の振興と新たな事業の創出—
(No. 328)

- 地域の資源を活かした観光地域づくりについて (No. 329)
- 『学校林・遊々の森』全国子どもサミット」から「学校の森・子どもサミット」へ (No. 330)
- 平成 27 年度林野庁関係予算(概算決定)から「山村活性化支援交付金」、「森林・山村多面的機能発揮対策」(No. 333)

⑤ 当協会に関する情報

- 第 56 回理事会の開催 (平成 26 年度事業計画等) (No. 323)
- 第 26 回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の決定・プロフィール (No. 324、325)
- ジュネス栗駒スキー場で親子スキー教室を開催 (秋田支部) (No. 324)
- 第 30 回通常総会の開催 (No. 326)
- 平成 26 年度森林インストラクター資格試験合格者の発表 (No. 332)
- 平成 27 年度森林インストラクター「資格試験」・「養成講習」の日程等
(No. 334)
- 第 28 回森林レクリエーション全国研修会の開催 (No. 334)

(2) 第 27 回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校、地域グループ、職場グループなどのボランティア団体等を公募 (締め切りは平成 27 年 2 月末日)。

応募総数 34 団体 (都道府県推薦 21 団体・森林管理局推薦 11 団体・当協会支部推薦 2 団体) について審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞（1点）
特定非営利活動法人北海道ボランティア協会（北海道札幌市）
- 林野庁長官賞（2点）
利根沼田自然を愛する会（群馬県沼田市）
緑の環境クラブ（兵庫県三田市）
- 協会会長賞（6点）
阿寒国立公園川湯地域運営協会（北海道弟子屈町）
米川生産森林組合（宮城県登米市）
道宗道の会（富山県南砺市）
特定非営利活動法人三保の松原・羽衣村（静岡県静岡市）
采女城跡保存会（三重県四日市市）
特定非営利活動法人フォレストフォーピープル岡山（岡山県高梁市）
- 奨励賞（7点）
てしお森遊会（北海道天塩町）
あわらの自然を愛する会（福井県あわら市）
多良峡もみじの名所作り実行委員会（岐阜県大垣市）
江田島市立切串小学校（広島県江田島市）
特定非営利活動法人久住高原みちくさ案内人倶楽部（大分県竹田市）
霧立越の歴史と自然を考える会（宮崎県五ヶ瀬町）
蒲生郷おかべ会（鹿児島県始良市）

(3) 第28回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「北海道羊蹄山、洞爺湖周辺にひろがるレクリエーションの森」
 開催時期 平成26年10月16日(木)～17日(金)
 開催場所 北海道共和町、留寿都村、洞爺湖町、壮瞥町等
 参加人員 28人
 研修内容 ニセコ・神仙沼自然休養林、洞爺湖風景林、ルスツリゾートなどの視察等

(4) 森林環境教育ネットワーク事業

平成 19～21 年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業（林野庁補助事業）の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

① ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営

URL : <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

② メールマガジンの配信（会員登録数：1,132）

第 118 号(平成 26 年 4 月 4 日)～第 134 号(平成 27 年 3 月 16 日)

③ パンフレット「森林環境教育のすすめ」等の配布

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等を PRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(年 4 回、各回 850～900 部)

② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供

③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ

④ 資料の配布やインストラクターの紹介

等の活動を実施。

(6) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4 回)や現地研修会(1 回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム：平成 26 年度の活動状況

研究会等の開催	テ ー マ ・ 講 師 等
第 1 回研究会 (3 月 14 日)	「森林・林業施策の展開方向」 講師 林野庁 森林整備部長 本郷 浩二 氏
第 2 回研究会 (7 月 11 日)	①「地域の資源を活かした観光地域づくり」 講師 国土交通省観光庁観光地域振興部観光資源課 ニューツーリズム推進官 水口 幸司 氏 ②「東京都西多摩地域における森づくり活動」 講師 西多摩森づくりコーディネーター・ 森林インストラクター 石山 恵子 氏
第 3 回研究会 (10 月 6 日)	①「林業労働対策にかかる最近の話題について」 講師 林野庁林政部経営課 林業労働対策室長 井出 光俊 氏 ②「近代化遺産『森林鉄道』の姿と観光的価値」 講師 石巻専修大学人間学部 客員教授 矢部 三雄 氏
現 地 研 修 会 (10 月 16～17 日)	開催場所 北海道共和町・留寿都村・洞爺湖町・壮瞥町等：ニセコ・ 神仙沼自然休養林、洞爺湖風景林、ルスツリゾート等 (第 28 回森林レクリエーション全国研修会に併せて開催)
第 4 回研究会 (12 月 18 日)	①「鎮守の森の変遷と現状について」 講師 特定非営利活動法人社叢学会 理事 塩谷 崇之 氏 ②「持続可能な開発のための教育(ESD) に関するユネスコ世界会議について」 講師 林野庁森林整備部森林利用課 山村振興・緑化推進室長 今泉 裕治 氏

(7) 他団体主催行事への後援等

- ① 第24回森と花の祭典・みどりの感謝祭（協賛）
平成26年5月10日・11日（東京都立日比谷公園）
- ② エコプロダクツ2014・森林からはじまるエコライフ展（参加）
平成26年12月11日～13日（東京ビッグサイト：東京都江東区有明）
- ③ IZU TRAIL Journey2015（後援）
平成27年3月14日・15日
（静岡県松崎町、西伊豆町、河津町、沼津市、伊豆市にまたがる地域）
- ④ 平成26年度国有林野事業業務研究発表会（協会会長賞の授与）
平成26年12月4日（林野庁）
 - 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞
（森林ふれあい部門）
課題名 木の名前を覚えよう！「樹木博士認定会」の取組について
受賞者 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター 小林 薫 氏
同 松田 清 氏

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの審査を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

平成26年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（平成26年2月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（平成26年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区 分	科 目	期 間	日 数	場 所	受 講 者 数
講習Ⅰ (科目別講習)	森 林	5.17~5.19	3	東京都文京区 林野会館	88人
	野外活動等	6.21~6.23	3		68人
	林 業	7.5~7.6	2		90人
講習Ⅱ (全科目講習)	4 科 目	8.9~8.16	8		56人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 平成26年5月17日～7月6日（うち8日間） 受講者数 58人
- ② 平成26年8月9日～16日 受講者数 59人

4 森林インストラクター資格認定事業

平成 26 年度の森林インストラクター資格試験の受験申込者数は 451 人（前年度 479 人）、合格者数は 102 人（同 104 人）で、平成 3 年度からの合格者数の累計は 3,865 人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

平成 26 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（平成 26 年 2 月 1 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（平成 26 年 6 月 1 日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 28 日	札幌市	北海道経済センター	14 人
	東京都	青山学院大学	266 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	31 人
	大阪市	天満研修センター	100 人
	高知市	高知城ホール	12 人
	福岡市	電気ビル本館	25 人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 15～16 日	東京都	林野会館	106 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（平成 26 年 11 月 26 日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（平成 26 年 12 月 5 日）
- ⑦ 平成 26 年度の登録更新の開始（平成 26 年 12 月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道 央	26年 8 月 29 日	北海道札幌市	伴理事長
旭 川	26年 6 月 13 日	北海道旭川市	伴理事長
北 見	26年 7 月 4 日	北海道北見市	伴理事長
帯 広	26年 6 月 27 日	北海道足寄町	伴理事長
函 館	26年 8 月 8 日	北海道函館市	伴理事長
青 森 (研修会)	26年 11 月 10～11 日	岩手県八幡平市	伴理事長
秋 田 (研修会)	26年 11 月 10～11 日	岩手県八幡平市	伴理事長
前 橋 (研修会)	26年 8 月 27 日	群馬県前橋市	伴理事長
	26年 10 月 22 日	新潟県湯沢町 (苗場高原)	
東 京	26年 7 月 18 日	東京都江東区	伴理事長
長 野	26年 7 月 10 日	長野県長野市	伴理事長
四 国 (研修会)	27年 3 月 24 日	愛媛県西条市	伴理事長
賛助会員 研修会等	26年 3 月 14 日等	東京 (森林共生フォーラム「研究会」への参加等)	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

平成 26 年度における会員数の異動状況

区 分	平成 25 年度末	入 会	退 会 等	平成 26 年度末
正 会 員	239	3	12	230
賛助会員	18	-	-	18
合 計	257	3	12	248

(注) 退会等には、事業の休止、合併等に伴う減(4)を含む。